



チャレンジ



両津小 4年

渡辺 翔琉

「ぼくは水泳をがんばっています。ぼくの一番とく意な泳ぎは、「クロール」です。今練習しているのは「平泳ぎ」です。ポイントは、手の小指をつけて顔を洗うようにかきまわす。一番むずかしいのは息つきです。足と手と息つきを合わせると体がしずんできません。足の動きに気をつけています。水泳は、自分の身を守る運動なので、これからもがんばって練習をしたいです。」

佐渡

佐渡支局
0259(27)2495
(27)4811
FAX(27)2090

防災計画 重要性学ぶ

吉岡でリーダー研修会

避難経路の問題点確認

佐渡市の各地区で防災対策を主導する役割を担う「地域防災リーダー」のスキルアップ研修会が、真野ふるさと会館(吉岡)で開かれた。地域の特性に応じた住民がつくる「地区防災計画」の重要性を学び、自然災害発生時の避難経路を再確認した。

佐渡市は2013〜15年度に防災士養成講座を開き、資格取得者約200人を地域防災リーダーに認定した。16年度からは資格を生かし地域で活躍し



災害危険箇所や避難経路の問題点などを確認した研修会＝佐渡市吉岡

「コミュニティが醸成される画は簡素でよいとした上で効果もある」と述べた。計「地域のリスクを知り、日

頃から災害発生と避難方法をイメージしてほしい」と呼び掛けた。

ワークショップでは、地区別に自然災害時の危険箇所と避難経路を再点検した。参加者は「坂道に手すりを設置したほうがいい」「両津港近くに津波避難タワーがほしい」など意見を申し合った。

参加した防災リーダーの石塚絹子さん(68)＝戸中＝は「年1回でも研修があると、防災への意識が活性化するため生かしたいと改めて思った」と話した。

菅笠作り 詳

「佐渡地

